



あなたの町の「カリタスさん」 (キャンペーン編)

今回は船員司牧活動について、
横浜教区担当司祭の濱田^{みづ}壮久神父が
紹介してくれました。

横浜教区の船員司牧 (AOS = Apostleship of the Sea)

横浜教区は長い海岸線を有し、沢山の国際貿易航路を持つ港があります。神奈川県では川崎港、横浜港、静岡県では清水港、焼津港で、港に行くと船を訪問する「訪船活動」、船員たちの必要に応じて港の外までミニバンで送る「送迎活動」、霊的ケアとしての船上ミサや船の祝別、港の近くの教会での主日のミサへの招待などを行っています。待降節中は、手編みの帽子やタオルなどをラッピングして船員たちに贈っています。2016年は、4港で約1,400人にクリスマスプレゼントを贈ることができました。今年も、主の降誕の喜びを多くの船員と分かち合えますように。

船員司牧とは…
私たちの生活は貿易によって支えられています。日本では年間9億トン以上の物資が輸出入されていますが、この99.7%は海運によって支えられています。そこで、数カ月も船に乗り続けている船員たちが寄港した時、少しでも暖かい気持ちになることができるよう、世界中の国際港で船員司牧が行われています。



船上で船員たちとミサを捧げる濱田神父(一番左) 川崎港で訪船するAOSスタッフと岩間勉神父(右から2番目)

援助実績一覧(2017年5月～8月)

	援助国/地域	援助活動名	援助団体	援助額
国際カリタス緊急支援要請	ヨルダン	シリア・イラク難民、ヨルダン人困窮者支援(EA05/17)	カリタスヨルダン(Caritas Jordan)	1,139,100
	ルワンダ	ブルンジ難民支援(EA13/17)	カリタスルワンダ(Caritas Rwanda)	1,101,300
	ケニア	干ばつ緊急支援(EA14/17)	カリタスケニア(Caritas Kenya)	1,115,900
	ニジェール	ボコ・ハラム被害者・避難民支援(EA15/17)	カリタスニジェール(Caritas Niger)	1,231,700
	ネパール	地震復興支援2/3年目(EA16/17)	カリタスネパール(Caritas Nepal)	34,266,000
	スリランカ	洪水・地滑り災害緊急支援(EA18/17)	カリタススリランカ(SEDEC)	1,142,200
	ベネズエラ	母子栄養・保健緊急支援(EA19/17)	カリタスベネズエラ(Caritas Venezuela)	2,284,400
	フィリピン	マラウイ市武装勢力占拠による自宅避難者緊急支援(EA20/17)	カリタスフィリピン(NASSA)	1,302,200
	中央アフリカ	国内避難民支援および帰還支援(EA21/17)	カリタス中央アフリカ(Caritas Central Africa)	1,302,200
	ギリシャ	難民・移民、経済危機緊急支援フェーズ3(EA22/17)	カリタスギリシャ(Caritas Greece)	1,290,300
海外援助	ルワンダ	孤児支援	カリタスルワンダ(Caritas Rwanda)	680,162
	ヨルダン	女性移住労働者支援	カリタスヨルダン(Caritas Jordan)	1,139,100
	ヨルダン	イラク難民とヨルダン人困窮者支援	カリタスヨルダン(Caritas Jordan)	2,278,200
	シリア	国内避難民、難民支援	カリタスシリア(Caritas Syria)	2,594,600
	パキスタン	植林キャンペーン	カリタスパキスタン(Caritas Pakistan)	129,030
	タイ	メコン地域での安全な移住と反人身取引プログラム	カリタスアジア(Caritas Asia)	3,997,700
国内援助	名古屋教区	障害を持つ信徒に関するアンケート実施支援	日本カトリック障害者連絡協議会	250,000
	横浜教区	除雪機購入による冬の生活援助	共働学舎信州	800,000
	高松教区	えひめダルク開設事業	えひめダルク	1,000,000
熊本地震	福岡教区	仮設住宅などにおける生活に必要な家電・備品配布事業 2017年4月配布分	くまもと災害ボランティア団体ネットワーク(KVOAD)	1,219,100
	東京教区	熊本地震支援活動	きょうざれん	1,918,137
	福岡教区	仮設住宅などにおける生活に必要な家電・備品配布事業 2017年5月配布分	くまもと災害ボランティア団体ネットワーク(KVOAD)	613,400
	福岡教区	仮設住宅などにおける生活に必要な家電・備品配布事業 2017年6月配布分	くまもと災害ボランティア団体ネットワーク(KVOAD)	2,007,700
	福岡教区	仮設住宅などにおける生活に必要な家電・備品配布事業 2017年7月配布分	くまもと災害ボランティア団体ネットワーク(KVOAD)	1,295,900

we are

Caritas



NO.11

2017年
12月号

通算発行番号No.317

You can read the text of this newsletter with Google Translation @ <https://www.caritas.jp>

あの嬰兒を私たちの真ん中に

待降節になると、教会やミッションスクールでは、イエス様の誕生の聖劇の準備を始めます。劇の役を決めたり、セリフを覚えたり、衣装やシナリオを作ったり、子どもたちは大忙し。大人たちもワクワクする、よろこびの時期です。

しかし、もともとイエス様の誕生は決して楽しく準備されたものではありません。ルカ福音書を開いてみますと、誰も受け入れてくれない町に辿り着いた寄留者の若い夫婦が登場します。汚くて寒い場所に自分の大事な子どもが孤独に生まれようとしている。更にマタイ福音書に記されているように、この幼子は権力者に殺害されるので、外国に避難しなければならない。悲しくて危険の連続でした。

まさに今、難民の母親に抱かれた幼子が写っているような場面も思い出します。人間に対する不信と恐怖でいっぱいの子どもの現実です。本来子どもたちは、信頼と希望に満ちた環境に恵まれ

て成長し、思いっきり笑い、遊ぶはずなのに、現代に生きる私たち大人は、奪い合い、殺し合う、争いの社会を造ってしまいました。その中で子どもたちは希望を失い、そして不信の目で私たちに

じっと見つめているのではないのでしょうか。今年から来年にかけて、カリタスジャパンは世界のカリタスとともに「排除ZEROキャンペーン」を実施しています。私たち大人は初心に戻って、今年こそクリスマスに心からの祈り、献金と行動を呼びかけられています。この呼びかけに応え、あらゆる場面や機会において子どもたちを真ん中におく社会に変え



レバノンのキャンプで母の手に抱かれて眠るモハンマド

ていけるように、幼いイエスとともに心と力を合わせて努力いたしましょう。

イグナシオ・マルティネス神父
(カトリック中央協議会 社会福音化推進部長)



〈クリスマス募金〉にご協力ください

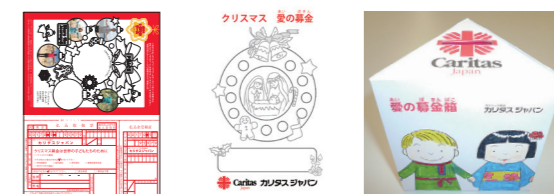
カリタスジャパンでは今年も「クリスマス募金キャンペーン」を行います。クリスマス募金は、世界の子どもたちを支援するプロジェクトに充てられます。

この時期、世界の子どもたちに
あたたかい心を分け合いながら、
幼いイエス様の誕生を待ち望みましょう。

右のグッズを用意しています。
幼稚園、小学校、教会学校などご利用
になりませんか?ご入用の方はカリタス
ジャパン事務局までお申し込みください。本体、
送料ともに無料です。



昨年のクリスマス募金での支援先の一つ イラク/母子支援



払込票付きちらし(ぬり絵のリース) 募金袋(ぬりえ) 組み立て式の募金箱

待降節中やクリスマスのイベントもカリタスと一緒に♪

「排除(はいじょ)ZERO」キャンペーン期間中、教会、ブロック、教区、学校、グループなどで実施されるイベント(バザー、インターナショナルデー、勉強会など)に、カリタスジャパンも参加させていただけませんか?キャンペーンをテーマにした企画などの持ち込みも大歓迎です。まずはお気軽に、カリタスジャパン事務局までご連絡ください!

例)バザーに出展しました



10月15日、吉祥寺教会(東京)のバザーに出展しました。「排除(はいじょ)ZERO」キャンペーンを中心とした出展で、リーチアウトフォト撮影などを通して多くの方々からご参加いただきました。

編集後記



9月27日に「排除ZERO」キャンペーンが始まりました。2019年まで2年間続きます。「国籍なんてない!」「みんなウェルカム♡」の気持ちを込めたリーチアウトフォトを撮ったら(カリタスジャパンまで送ってくださいね)、次は実行に移すのみ!まずは自分の教会でたくさんの人と「出会う」いきたいですね。

We are Caritas No.11 (2017年12月号)
通算発行番号No.317

郵便振替番号 00170-5-95979
宗教法法人カトリック中央協議会 カリタスジャパン
発行人 菊地 功
〒135-8585 東京都江東区潮見2-10-10 日本カトリック会館
TEL:03-5632-4439 FAX:03-5632-4464
Email:info@caritas.jp URL <https://www.caritas.jp>

<https://www.facebook.com/caritasjapan>

はいじょ
排除ZEROキャンペーン

「**出会う**」



キャンペーンが始まりました!

9月27日、教皇フランシスコの一般謁見演説によって、国際 Caritas のキャンペーンが正式に始まりました。

「希望」に関する講話の中で教皇は「希望は、家や故郷を離れた人々と、受け入れる側の人々の心の原動力、人生という旅路をともにするための力である」と言い、「恐れずに、旅をともにしてください」と呼びかけました。そして「キリストご自身が両腕を大きく開いて、移住者と難民の兄弟姉妹を歓迎するようわたしたちを招いておられる」「このように両腕を大きく広げて歓迎するのです。両腕を広げれば、わたしたちは誠実さと愛情にあふれる心で相手を含み込むことができます」と自身の両腕を大きく広げて話されました。

全文は、カトリック中央協議会のウェブサイトをご覧ください。
<https://www.cbj.catholic.jp/2017/10/06/14796/>

日本では、司教団とカトリック中央協議会（Caritas ジャパン）と日本カトリック難民移住移動者委員会が所属の職員が「キャンペーンの祈り」をともに捧げました。



▲ともに祈りを捧げる司教と職員
◀日本の司教団もこのキャンペーンに賛同しています。来日中のフローニャ機師（前列中央）、チェノットウ大司教（同右）とともに

現場からの声

「排除ZERO」宣言は、「私は排除される人のがわに立つ」と宣言すること

日本に生まれ育つ子ども、日本人と結婚した人、日本国籍の子どもを持つ親。かつてはこのような事情のある人には退去強制令書が出された後でも在留許可が出る可能性がありましたが、ここ数年は皆無に等しくなりました。移住者たちが「私たちが国外に追放しないでください」と日本政府をお願いするのを、私たち支援者は後ろから見守るしかないのが現状です。2017年の夏、日本で生まれ育つベレー人の高校生と中学生のきょうだいが入国管理局に呼び出され「夏休みの間にあなたたちを収容し、強制送還する」と告知されました。前年に本国へ送還された父親は生活ができずアンデスの山奥へ消えてゆき、日本に残された母子が法務大臣に在留特別許可をお願いしていた矢先の宣告でした。子どもに向けて「収容・強制送還」と告知されたとき、母親

は「もう黙らない」と決意しました。母親は立ち上がり、国に在留許可を出すよう裁判を起したのです。次々に名を連ねた弁護士は13人に及び、「国際人権法や精神医学の専門家などにも協力してもらおう」と呼びかけています。このベレー人母子のように、いつ送還されるかわからない日々怯えて暮らす家族がたくさんいます。親たちには働ける在留資格がないため、教会で奉仕活動しながら生活支援を受けてどうにか生きています。「排除ZERO」を実行することは、「排除される人のがわに立つ」ということではないでしょうか。前途多難ですが、国籍や立場を越えた仲間が増えつつあるのを実感しています。

ビスカルド篤子
(Caritas ジャパン 援助部会委員・大阪教区シナピス)



子どもたちを守るために立ち上がったベレー人のネリさん(後列左)、前列左がビスカルドさん



自分たちで製作したアクセサリを売る難民・移住者たち

参加方法

リーチアウトフォト

「リーチアウト(reach out)」とは、「手を差し出す」という意味。あなたの、移住者への理解と支援の気持ちを、リーチアウトフォトで表してください!



両手を広げて「ようこそ!」のポーズを取るだけ。それを写真に撮って、Caritas ジャパンまで送ってください。一人でも、グループ写真でもOK。Caritas ジャパンから国際 Caritas のキャンペーンサイトに投稿します。

めざせ2000万人

2千万人が手をつなぐと、地球一周に!



各地での取り組み

あなたの教会や学校で、このような取り組みをされていますか?

- 国際ミサ ●インターナショナルデー ●食卓会 ●多国籍ボランティアグループ

それはすでにキャンペーンに参加しています!



教会や学校などで、日本人と外国籍の人たちが「一緒に」行っている「国籍を越えた」取り組みを教えてください。専用のフォームに記入し、Caritas ジャパンまで。(郵送、FAX、Eメール、ウェブサイトでの報告が可能です)

キャンペーン参加

国際ミサとパーティー

市川教会では、定期的な外国語ミサ(英語とスペイン語、それぞれ月1回)が行われていますが、毎年ご復活祭と10月には、国籍にかかわらず全ての信徒と一緒に多言語で「国際ミサ」をお祝いします。今年の10月22日にはミサ後、各国の料理を食べながら参加者が歌や踊りを披露するパーティーがありました。



市川教会/千葉

キャンペーン参加

東日本大震災をきっかけに...

日本人男性と結婚したフィリピン出身の女性たちが、東日本大震災をきっかけに教会に来るようになりました。そして日本人信徒と次第に仲良くなっていきました。教会委員会にも出席し、一緒に教会運営をしています。クリスマスや復活祭のミサの後のパーティーは、彼女たちのおかげで大盛り上がりです。子どもたちも大勢いて、ミサでは日本語で聖書朗読を行います。



大船渡教会/岩手

キャンペーン参加

一緒に学ぶ教会学校

貝塚教会の教会学校には、フィリピン、ヴェトナム、ラテンアメリカ、韓国、中国のバックグラウンドを持つ子どもたちが集い、両親とも日本人の子どもの方が数えるほどです。昨年の遠足ではみんなで上野動物園に行きました。いろんな人と「お友だち」になった経験が、子どもたちの中でかけがえのないものになるでしょう。



貝塚教会/神奈川

キャンペーン参加

コザ教会のモーニング

コザ教会のミサは、日本語と英語で進められます。何となくも楽しみは、毎週ミサ後に、皆でフィリピン料理の朝食をともにすることです!どれも美味ですが、とくにルーガウ(お粥)とパンシット(焼きそば)が人気です。



コザ教会/沖縄

キャンペーン参加

アクションデー

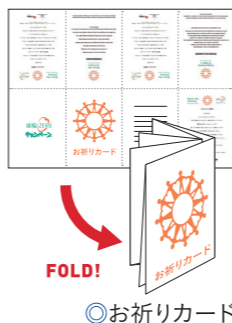
2018年の一年間を「アクションイヤー」と位置付け、各地で様々なイベント(アクションデー)を開催します。



日本カトリック難民移住移動者委員会(J-CaRM)との合同企画! 3教会管区(東京/大阪/長崎)で「アクションデー」を行います。日時や場所など詳細は未定です。決まり次第お知らせしますので、奮ってご参加ください!

キャンペーングッズ

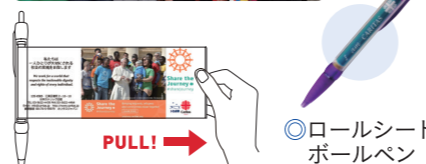
右のグッズを作成します。パザーなどで販売し、キャンペーン周知にご協力いただけませんか?



◎お祈りカード



◎Tシャツ



◎ロールシートボールペン

パザーなど貸し出します
「リーチアウトフォト」撮影の時に...
パザーや学園祭などの展示に...

※デザインは変更になる可能性があります。

キャンペーン募金

キャンペーン期間中、Caritas ジャパンでは「国内外の移住者・難民のため」の募金を受け付けます。いただいた募金は、海外の Caritas および国内の諸団体が実施する、移住者・難民のための支援活動、啓発活動に充てさせていただきます。

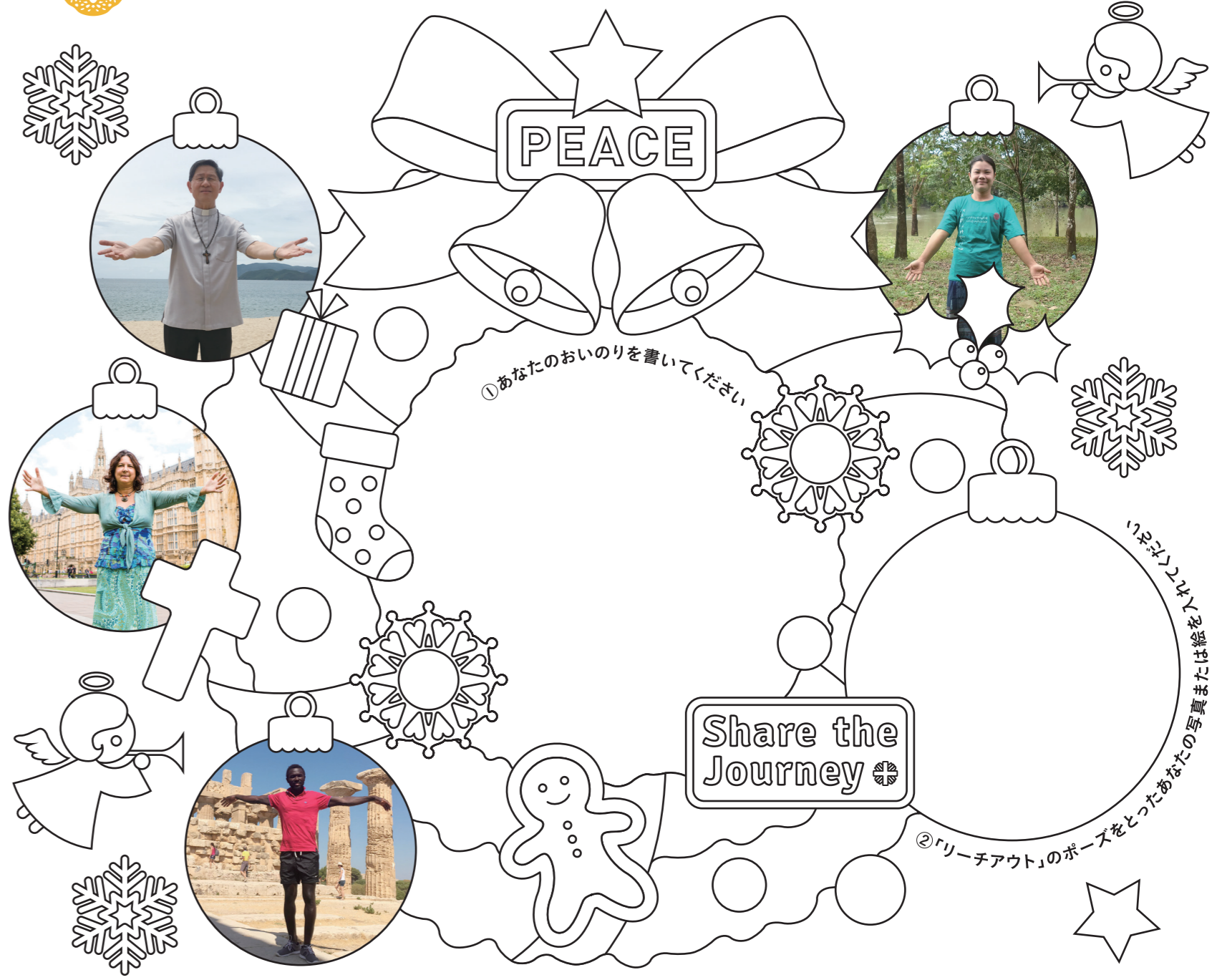
- ◎郵便振替番号:00170-5-95979
- ◎加入者名: 宗教法人カトリック中央協議会 Caritas ジャパン

※通信欄に「キャンペーン募金」とお書きください



「いのりのリース」を作って
「排除ZEROキャンペーン」に参加してください!

- ①あなたのいのりと、②「リーチアウト(左ページ参照)」のポーズをとった写真または絵を入れて、「いのりのリース」を完成させ、Caritas ジャパンまでお送りください。キャンペーン期間中のミサで奉納します。



日本語

キャンペーンの祈り

力ある神よ、わたしをあわれんでください。恐れと孤独の中にあるわたしの逃げ所となってください。故郷を連れ、さまよっています。残してきた家族への思いでわたしのこころは騒いでいます。神よ、人々の叫びを聞き、助けに来てください。わたしの中にある不安と疑いの激しい嵐を鎮めてください。知らない人々の中にあってもわたしの前を進み、導いてください。人々の優しさとおわれみによって、どこにあってもあなたがわたしを喜んで迎えてくださると、信じてことができますように。

English

Campaign prayer

Have mercy on me, God most high. In my fear and loneliness, be my refuge. Far from my homeland, I feel lost. My heart is stirred by thoughts of the family I left behind. O God, hear their cries and come to their help! Calm the storms of anxiety and doubt raging within me. Go before me and guide my steps among a people I do not know. May their kindness and compassion assure me that You are there to welcome me.

Español

Oración de la campaña

Ten piedad de mí, Dios, Todopoderoso. Cuando tenga miedo y esté solo, sé mi refugio. Lejos de mi patria, me siento perdido. Mi corazón se estremece por la añoranza de la familia que dejé atrás. ¡Oh Dios, escucha sus gritos y acude en su ayuda! Calma las tormentas de ansiedad y dudas dentro de mí. Camina delante de mí, guía mis pasos, entre desconocidos. ¡Que la bondad y la compasión de estas personas me conforten con la certeza de Tú estás allí para recibirme!

Français

Prière de la campagne

Aie pitié de moi, Dieu très haut. Dans ma peur et ma solitude, sois mon refuge. Loin de mon pays, je me sens perdu. Mon cœur est déchiré quand je pense à ma famille restée là-bas. Mon Dieu, écoute leurs cris et viens à leur secours! Apaise les tempêtes d'anxiété et de doute qui font rage en moi. Passe devant moi et guide mes pas vers une personne que je ne connais pas. Que sa gentillesse et sa compassion m'assurent que Tu es là pour m'accueillir.